

第 9 期 事 業 年 度  
(平成 2 4 年度)

決 算 報 告 書

国立大学法人 浜松医科大学

平成24年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,545	5,549	4 (注1)	
施設整備費補助金	50	52	2 (注2)	
補助金等収入	0	515	515 (注3)	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	31	31	0	
自己収入	17,050	17,881	831	
授業料、入学金及び検定料収入	650	651	1 (注4)	
附属病院収入	16,242	17,050	808 (注5)	
雑収入	158	180	22 (注6)	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,623	1,615	△ 8 (注7)	
引当金取崩	0	71	71	
長期借入金	2,651	2,651	0	
目的積立金取崩	0	3	3 (注8)	
計	26,950	28,368	1,418	
支出				
業務費	21,314	21,539	225 (注9)	
教育研究経費	6,306	6,034	△ 272	
診療経費	15,008	15,505	497	
施設整備費	2,732	2,734	2 (注10)	
補助金等	0	515	515 (注11)	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,623	1,433	△ 190 (注12)	
長期借入金償還金	1,281	1,258	△ 23 (注13)	
計	26,950	27,479	529	
収入-支出	0	889	889	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった交付額の変更による減額及び、23年度に交付された運営費交付金繰越額使用による増額により、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階では予定していなかった国からの補助金の交付を受けたため、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった国及び地方公共団体からの補助金の交付を受けたため、予算額に比して決算額が515百万円多額となっています。
- (注4) 主として入学金及び検定料収入の増等により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注5) 患者数の増及び入院基本料等の各種加算による診療単価の向上等により、予算額に比して決算額が808百万円多額となっています。
- (注6) 主として不用物品売払の増等により、予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。
- (注7) 予算段階で予定していた受託研究等の交付額が変更になったため、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。
- (注8) 事業が実施されたため、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注9) 業務費については、診療経費において外来棟改修工事費の増及び患者数等の増に伴う医療材料費の増等により、予算額に比して決算額が225百万円多額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由により、支出額においても予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由により、支出額においても予算額に比して決算額が515百万円多額となっています。
- (注12) 複数年契約等による収入と支出年度の差異により、予算額に比して決算額が190百万円少額となっています。
- (注13) 長期借入金の利率の変更等のため、予算額に比して決算額が23百万円少額となっています。